らしっくレポート ひろ記者が行く

今回は、「千田マップづくりプロジェクト」について取材しました。

地域と一緒に千田地区「魅力発見マップ」を作成

レポーター ひろ記者　津森正裕、高村秀樹

広島大学東千田キャンパスに法学部が移転して4年目を迎え、大学としての地域連携の取組が進展するとともに、学生主体の活動が拡大しています。

▲（左）亀本真珠さん、（右）牧野瑞樹さん

ゼミで東千田地区を研究しパネルを作成した法学部4年次生の亀本真珠さん、千田祭（大学祭）実行委員会会長を務めた経験もある法学部3年次生の牧野瑞樹さんにマップづくりプロジェクトの取組を聞きました。

〈千田地区〉

かつて広島大学をはじめ多くの学校、教育機関があった文教地区の歴史。市内有数の医療機関、各種の研究機関や情報センター、電鉄会社の本社・車庫などとともに、学生街らしい飲食店なども残る商店街がある地域です。近年は、高層マンションの新たな住民も増えています。

▲ワークショップの様子

〈千田地区マップづくり〉

今回のマップづくりは大学の千田地区まちづくり取組の一環として、地区の幅広い関係団体と学生団体が一緒になって取り組まれています。

●千田地域をもっと知る、千田「再発見」ワークショップで意見交換と認識を共有

●「千田地区マップ」の目的

- 千田地域への転入者（学生・ファミリー層）の地域定着、地域愛着の醸成
- 新生活の不安解消
- 街の魅力発信
- 地域住民ならではのローカル情報発信

〈学生による「千田マップづくりチーム」〉

5名のメンバーで千田地区の飲食店や商店などの取材活動を準備中。情報発信に関してはLMO（エルモ）千田イレブン（広島市が推進している地域運営組織）とも連携。

▲千田祭実行委員会

「東千田地区を研究したパネルを作った際、地域住民の皆さんの声を反映させることの大切さを再確認しました。」と亀本さん。牧野さんは「大学祭の準備で地域の多くの関係者、大人の方と接することができたことは、大変大きい。今回のマップづくりで得られる地域ならではの情報を、若者らしくインターネットでも発信していきたい。秋に開催予定の千田祭にはブース出展も検討しています。」

商店、飲食店などの情報はネットでも確認できますが、実際に取材する学生の視線からの情報は楽しみです。今回の取材時に勧められ、帰りに立ち寄った日赤病院前電停近くの中華料理店で、懐かしさイッパイの炒飯をいただきました。

「ひろ記者」とは、市民自らが地域のまちづくり活動やイベントなどを取材し発信していく、広島の市民レポーターです。
▶https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/14/7197.html

らしっくコラム
Rashikku column

都市を彩る「界隈」の多様性 ～広島に「10の界隈」を～

都市の魅力は、特徴的で魅力的なエリアがいくつも存在することで高まると言われている。広島都心部で考えてみると、本通り、流川、横川、十日市などの地名が頭に浮かぶ。それぞれが異なる雰囲気を持っており、人々の様子も互いに異なる。私たちの専門分野（都市計画分野）では、こうした特徴あるエリアを「界隈（かいわい）」と呼ぶ。

最近は「○○界隈」のように、「特定の趣味や価値観、属性を持つ人々の緩やかなコミュニティ」というような意味で、「界隈」という言葉が使われることも多いが、本来は「ある場所の周辺、一帯」というような、一定のまとまりがある「エリア」を意味する言葉である。本通りや流川、横川、十日市は、まさに広島を代表する界隈であり、それぞれが異なる魅力を持っている。そして近年では、ひろしまゲートパークや新サッカースタジアム周辺も、新たな界隈として育ちつつある。

一説によると、魅力的な界隈が10程度存在すると、多くの人は、その都市を魅力的と感じるらしい。多様な界隈があることで、人々は気分や目的に応じて行き先を選ぶことができる。また、観光客にとっても、何度も訪れたくなる都市となる。ここで「広島都心部に、魅力的な界隈は十分にあるだろうか?」という問いが頭に浮かぶ。正直にいえば、もっと魅力的な界隈が欲しい。例えば、各種データをみても、人々が集まる界隈は、福岡と比べても少ない。そう考えると、広島駅の新駅ビル「minamoa」は、単なる商業施設の開発ではなく、広島駅周辺を魅力的な界隈にし、広島のまちの魅力を向上させるための、プロジェクトと見ることができる。

魅力的な界隈をつくる上で重要なのは、建物や店舗だけではない。人々が思い思いに過ごせる屋外空間の存在も欠かせない。広島駅近くの猿猴川沿いでは、広島駅周辺地区まちづくり協議会による「水辺広場の活用社会実験」が行われており、私たち広島大学の都市・建築計画学研究室も参加している。学生たちは、協議会の皆さんと、水辺空間をより魅力的な場所にするための空間や仕掛けを実験的に準備し、その効果検証を重ねている。実際に、社会実験中は、部活帰りの高校生やカップル、仕事帰りの会社員など、多様な人々が集まる。人と話をしたり、食事をしたり、本を読んだり、あるいは何もせずに過ごしたりと、その使い方は様々である。河川のような開けた空間で、多様な人々が思い思いに過ごすことができるような界隈も、広島には必要だったのだと気づかされる。

既存の界隈の魅力を磨きながら、新しい界隈も育てていく。その積み重ねが広島という都市の魅力向上につながる。広島都心部に「10」と言わず、魅力的な界隈が数多く生まれることを期待したい。

Profile

広島大学 大学院先進理工系科学研究科
都市・建築計画学研究室 教授
田中 貴宏

2023年3月、横浜国立大学より博士（工学）を取得。専門は都市計画、まちづくり、建築。
広島市都市デザインアドバイザー会議座長、広島市都市計画審議会副会長、広島市環境審議会副会長などを務める。実践活動として、行政機関の皆さん、住民の皆さんと協働し、都市計画、まちづくり、建築づくりを進めている。また研究者としては、科学的理解（エビデンス）に基づく、都市や地域、建築の計画手法の開発を進めている。

ようこそ! 公民館へ
～東区内公民館～

地域のみなさんの学習活動を応援する最も身近な施設「公民館」でまちづくりに関する活動をしているグループをご紹介します。

1 葉月会
福田公民館

日本画は西洋画と違い、日本特有の自然由来の画材、和紙や絹に岩絵の具や胡粉、墨などを用いて、日本古来の技法で四季折々の風景や花鳥などを描きます。

日本画グループの葉月会は、平成10年に3人で発足しました。当初は、会員宅などに集い基本から学んでいましたが、令和4年から福田公民館での活動を開始しました。現在会員は4人で、毎月第2・4土曜日の午後1時半から3時半まで、俊峰先生の指導のもと活動をしています。

毎年、福田公民館まつりや福田ロビーギャラリー展で作品を展示しています。また、葉月会・弥生会・長月会合同で、広島県緑化センター・フジグラン緑井ギャラリーで展示会を行っています。

日本画の奥深い魅力や、描くことの楽しさを味わっていただくことを大切にしています。早期上達法をわかりやすくお教えします。ぜひ、絵筆を持って一緒に楽しく描きましょう。みなさんのご参加をお待ちしています。

2 馬木の自然を守る会
馬木公民館

馬木は山と川の自然豊かな町で、古くからの伝説も残っています。南側に位置する呉娑々宇山には、遥か昔にささら姫が身を投げたと言われる「ささらが池」伝説が。はたしてその池はどこにあるのか探し始め、平成26年に探し当てると、6月には池周辺にモリアオガエルの卵塊が見られ、また8月末には自生のサギ草が花を咲かせることが分かりました。この自然を保護し紹介することで、地域への愛着心を育むことを目的にグループを結成しました。

その後、登山道の草刈りから始め山道に階段をつけ、急坂の箇所にはロープを張って年配者やこどもたちでも安全に登れる道になりました。現在4コースまで整備して、マップ作りを行っています。

また、北側に位置する二ヶ城山は、地域住民の健康増進を目指して日常的に散策可能な山道に整備しました。マップの作成と途中のポイント看板設置に取り組み、現在は5コースとなっています。

会では、健康づくりと観察会のイベントを年5回開催し、大変好評をいただいています。概ね月1回の活動の他に、川辺でのバーベキューも楽しんでいます。気軽にご入会ください。

3 防災を考える会
温品公民館

「防災を考える会」は、①いつ発生するかわからない災害への備え、②地域住民の防災意識の向上、③災害関連死「0」の実現を目指して活動しています。

昨年は、内閣府の「地区防災計画」モデル地区に選定され、行政や有識者の支援を受け、地域のみなさんに参加いただいたワークショップを通じて、地域特性を踏まえた地区防災計画の策定を進めるとともに、学区連合町内会と一緒に避難行動要支援者への支援方法に理解を深めるなど、これまでの個別活動から地域全体と連携した「面の防災」へと発展させることができました。

また、防災を難しく考えるのではなく、誰もが楽しく気軽に「チーム温品防災」として活動に参加できるよう、キャラクター【NUKUBOU&SAI CHAN】が誕生しました。

これからも、住民一人ひとりの防災意識の向上や地域団体との実効性のある連携を図りながら、「地域で命を守る」チーム温品防災活動を推進します。

4 手編同好会
戸坂公民館

巷では編み物ブームが再燃していますが、私達は流行とは無縁で純粋に日々の編み物を楽しんでいます。

当会が発足したのは昭和50年。会員歴20年以上のベテランから入会数か月の初心者まで、個性豊かな14人が活動しています。会員歴最長の時江さんは「最近は昔のように編めんけど、ここへ来りゃ楽しいけぇ」といつも笑顔です。

編み物はまさに「脳活」そのものです。編み図を読み解き、指先を動かし出来上がりを想像する。公民館まで足を運ぶことも良い運動になります。時には編み間違いに泣いたり怒ったりしながらほどくこともありますが、仲間と顔を合わせれば、褒め励ましあうことで、とっておきの一枚へと向かう活力が湧いてきます。

編み物師範の資格を持つ講師のもと、毎週和やかな時間を共有しませんか。技術だけでなくおしゃべりも弾みます。

若人から男性まで、初心者の方も大歓迎です。見学希望の方はぜひお気軽に公民館までお問い合わせください。

5 レディース・モルック
早稲田公民館

「レディース・モルック」は、2026年4月から早稲田公民館で本格的に活動を始めたサークルです。活動日は原則毎月第3月曜日の13時から15時まで。室内で楽しめるインドア・モルックを行っています。

モルックを投げて数字の書かれたスキットルを倒し、ちょうど50点を目指すゲームで、1本だけ倒れるとその数字が得点、複数倒れると倒れた本数が得点になるシンプルなルールです。しかし、狙ったスキットルを倒すのは意外と難しく、思い通りにいかないところも魅力のひとつ。「惜しい!」「やった!」「次こそ!」と声を掛け合いながら、笑顔あふれる和やかな雰囲気の中で活動しています。点数を計算しながら作戦を考えたり、思いがけない逆転に盛り上がったりと、毎回笑い声が絶えません。体力に自信がなくても無理なく参加でき、楽しく交流しながら心も体もリフレッシュできます。

入会には女性会会員であることが条件ですが、女性会には性別や年齢に関係なくどなたでも入会できます。

グループへのお問合せについては、各公民館へお願いします。

1. 福田公民館 ……☎082-899-2901
2. 馬木公民館 ……☎082-899-3062
3. 温品公民館 ……☎082-289-0256
4. 戸坂公民館 ……☎082-229-3110
5. 早稲田公民館 ……☎082-502-1239

人材バンク

名人 宝人 達人

さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。
地域活動やまちづくりのお手伝いに、
今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

Interview 1

歌のお姉さんショー　三村（みむら） 明子（あきこ）さん

こどもたちが自由に楽しみながら輝ける場所を音楽のチカラと成功体験で自己肯定感もアップ

▲三村明子さん

幼稚園教諭や保育士の経験を積み、「こどもたちのキラキラした笑顔を引き出したい」と立ち上がったのは8年前。理想のカタチを求め各地のイベントに赴いていたある日、ひょんなことからチャンスが訪れ、体操に特化したクラスをスタートしました。「これまでの経験を活かしたクラスを展開していたのですが、ある施設で『音楽を使ってほしい』とリクエストをいただいたんです。音楽に合わせて生き生きと体を動かすこどもたちの姿に深く感動し、そこから運動・音楽・ダンスを組み合わせた現在の親子参加型クラスが生まれました」。その活動は口コミで広がり、現在は市内の公民館やショッピングモール、養護施設などへ「歌のお姉さん」としてパワフルに駆け回っています。

令和6年4月、人材バンクに登録。未就学児と保護者を対象に音楽と体操を組み合わせた親子参加型のクラスを提供。こどもたちからは「あきおねえさん」の愛称で親しまれている三村明子さんです。

▲こどもの目線に合わせて距離を縮めています

提供するクラスは、参加するこどもの年齢に合わせて30～40分で内容を調整。最初はパペットを使ってこどもたちとの距離を縮め、誰もが知っている曲で心にスイッチを入れます。簡単な体操、大人も楽しめる手遊び、ママやパパと向き合って楽しむリトミックやボディーマッサージで親子のスキンシップを深めたら、最後はパワフルに動く体操で、会場全体で達成感を共有します。クラスはこどもたちのためだけではなく、保護者の育児支援や孤立防止の場としても機能しています。参加者からは「こどもの新しい成長が見られた」「楽しかったので家庭でも一緒に練習しています」と、喜びの声が多数寄せられています。「何かをさせたい、ではなく、こどもたちが自然に体を動かして笑顔になっていくことが大事。些細なことでも「できたよ!」と誇らしげに笑うその瞬間から成長し、自己肯定感が上がっていくと思っています」とこどもたちに負けない笑顔の三村さん。最近では「もっと動きやすいメロディを」とオリジナル曲の制作を始め、SNSでの動画配信にも挑戦するなど、あきおねえさんの夢はまだまだ広がり、これからもかけがえのない宝物を届けていきます。

▲音楽に合わせて体を動かすとみんな笑顔に

Interview 2

こま回し　中島（なかしま） 昭雄（あきお）さん

昔ながらのこま遊びの楽しさ・魅力を通して こどもたちに達成感や自信をつける力を伝える

▲中島昭雄さん

今から30年近く前、自身のこどもとこまで遊ぼうと思ったことがきっかけで、こまの魅力に惹かれ、自分でこまを回したり、貴重な江戸独楽や全国各地の投げごまをコレクションしているのが、中島昭雄さんです。

「こま遊びと言えば、こまとこまをぶつけ合う“ケンカごま”が一般的には知られていますが、熊本がルーツと言われる、両手に持ったひもの上でこまを自在に転がしながら空中で回す“ちょんがけ”と呼ばれる技も、凄い技です。目の前で回るこまを眺めていると、ついつい引き込まれます」。中島さんは、自分でこま遊びを楽しむだけでなく、こどもたちが夢中になって遊び笑顔がこぼれる姿に喜びを感じるようになったそうです。平成8年に人材バンクに登録後は、幼稚園や児童館、大学等で出前講座を重ねこまの魅力を伝えています。「ピーク時は、一年に30回近く講座を開いたこともありました。今でこそ回数は減りましたが、幼稚園や児童館での講座、毎年5月の広島市森林公園でのイベント、10月第2日曜日のスポーツの日にちなみ開かれるイベントでの昔遊びのコーナーでの実演は継続して出演させていただいています」。

▲江戸独楽のコレクション

▲さまざまなコマのコレクション

また中島さんは、こま愛好家の中では貴重な江戸独楽のコレクターとしても知られた存在です。「自分がこま遊びを始めた頃、百貨店の催事会場で江戸独楽作りの職人広井政昭（ひろいまさあき）さんの作品に触れ、何とも言えない粋で洒落っ気のある独楽の魅力に取りつかれたんです」。こまの回転力を使って、さまざまな動きを作り出し、豊かな表情が特徴の“からくりごま”と呼ばれる江戸独楽。職人が作る独創性あふれる作り、芸の細やかさ、細工の細やかさに優れており、コレクターの中でも評価が高く、中島さんは、自身が旅をする中で見つけたこまはもちろん、愛好家仲間から譲り受けたものを含め現在では100個以上も保有。こま作り職人が少なくなっている今では、そのどれもが希少性高く、価値のある物になっています。

「人材バンクに登録して間もない頃と、今のこどもたちは育ってきた環境が違うし、遊び方そのものも違います。しかし、他人の力を借りず、自分の力で何か一つでも成し遂げた時の達成感や自信は、昔も今も変わりません。一見簡単そうに見えて難しい、こま遊びを通して、こどもたちに自信を与え、昔ながらの遊びの大切さを伝えていきたいですね」と、今後も、健康が続く限り、こま遊びの楽しさ・魅力を伝えていきたいと情熱的に語ってくれました。

▲小学校での講座の様子（平成28年）

まちづくりボランティア人材バンク達人を紹介してもらうには・・・

まちづくりボランティア人材バンクは「自分の知識や技術を生かしてボランティア活動をしたい」達人と「ボランティアで来てほしい、教えてほしい」団体・グループとをつなげるシステムです。

現在 140 名余りの達人が約 170 件のボランティア活動で登録しています。年間約 300 件の達人紹介の申し込みがあり、日程や活動内容等の条件が整った 260 件が活動につながっています。

地域活動や手作りイベントなど市民の皆さんが活動する中で、「お願い！達人」という時は、お気軽にご相談ください。

1．人材バンク紹介申込書の作成

どういう団体・グループが、いつ、どこで、誰を対象に、何をする行事なのか、希望する達人を所定の申込書へ記入します。決まっていない項目は空欄のままで大丈夫です。

※紹介申込書は、人材バンク登録内容リストや当プラザ HP、ひろしま情報 a-net から入手できます。

※申込書の作成が難しい場合はご相談ください。

2．広島市まちづくり市民交流プラザへ申し込み

当プラザへ、FAX、E メール、郵送、窓口へ持参のいずれかで申込書を提出します。初めて申し込まれた団体や詳しいことを確認したい時には、当プラザより連絡をさせていただくことがあります。

3．当プラザから達人へ連絡・調整

紹介申込書の提出後、希望する達人へ当プラザから打診の連絡をし、紹介の可否を確認します。（連絡・調整には、1 週間程度かかります。）

4．申込団体へ達人の連絡先をお知らせ

達人紹介の内諾が得られたら、達人の連絡先をお知らせします。達人との直接のやり取りのスタートです。速やかに正式な依頼の連絡を取りましょう。

5．活動・イベント等の準備と実施

実施に向けて、達人との十分な打合せを行いましょう。しっかり相談すれば、お互いに良いアイデアが生まれます。いよいよ、活動・イベントの実施です。

6．活動報告アンケートのお願い

活動終了後、当プラザよりアンケートをお送りします。実施結果や感想、写真、配布資料等を報告してください。その後の紹介に大変役立ちますので、ご協力お願いします。

まちづくりボランティア人材バンク発表会

仕事や趣味などで得た知識・技術などを生かし、ボランティアとして、助言・実技指導などを行う方々が「まちづくりボランティア人材バンク」に数多く登録されています。当プラザでは、市民グループなどからのご要望により、達人たち（登録ボランティア）の紹介・あっせんをしています。毎月第 4 土曜日は「人材バンク発表会」の日。達人たちの得意なテーマで講座や催しを開催しています。どなたでもご参加いただけますので、どうぞご来館ください。

日時＝8 月 22 日（土）、9 月 26 日（土）、10 月 24 日（土）
毎月第 4 土曜日　午後 2 時～ 3 時半
※時間は変更になる場合がございます。
※テーマはプラザ HP やチラシでお知らせします。
※無料：要事前申込

※当バンクは、政治、宗教、営利目的の活動での利用はできません。
※達人紹介は、団体・グループからの単発な活動に限ります。個人活動や長期継続活動への紹介はできません。
※達人は、実費弁償ボランティアとして活動します。交通費、資料代、材料費等の実費は、申込団体にご負担いただきます。

ボランティア紹介・登録などの申し込み・問い合わせは…

広島市まちづくり市民交流プラザ（合人社ウェンディひと・まちプラザ）
☎（082）545-3911 FAX（082）545-3838